

2023 年度研修報告

日本共産党甲斐市議団

第 6 5 回自治体学校 in 岡山 (7 月 22 日(土)~24 日(月))

行程表

7 月 22 日 山交高速バス 竜王 7:00⇒静岡駅

東海道新幹線 こだま 707 号静岡⇒名古屋 のぞみ 19 号名古屋⇒岡山

13:00 全体会受講 岡山市民文化ホール

中山 徹 奈良女子大学教授

「地方自治と地域 この 1 年から考える」

少子化対策=財源論限界

日本でなぜこれだけ出生率が落ち込んでいるのか。最大の理由は、賃金は上がらないで非正規雇用が増えている、安心して子どもを産んで育てることが極めて困難になっているからその原因は、政府がこの 20 年間進めてきた新自由主義的な政策にあります。ところが「異次元の少子化対策」はそこに手をつけようとせず、児童手当や出産一時金の引き上げといった、政府の予算措置によって実現可能な項目に限定されています。

もう一つ大きな問題は、財源の確保ですが、収益を上げている大手企業とか富裕層に対する課税ではなくて、社会保険料に上乘せするなど国民負担を拡大するような形で財源を確保しようとしている、ここに二つ目の大きな問題がある

などの講義をききました。

15:00 全体会 岸本聡子 東京都杉並区長

「地域の主権をもとにミュニシパリズムの広がり」

岸本◎民営化が自治体にとってリスクが高い、区民・市民にとっても高い、地球環境にとっても非常に不安。国際的に民営化に対する見直しが始まっている。

保育園の民営化を例にみると、「このぐらいは公営でやって、このぐらいは民営で」と、自治体としては経験を重ねながら徐々に進んでいくものですよね。でも、民営にすれば 80% くらいの整備費補助が出る一方で、公営だったら 100%自治体が費用負担しなきゃいけない、という誘導的な政策を国が取っています。こうなると、自治体は事実上選択肢がなくなり、保育園の民営化について考えたり、地域の声を聞いたりする意欲が薄れてしまっている。

以上二つの記念講演を受講

セントラルホテル岡山に宿泊

7月23日

谷口和男

分科会6 「公なし「地域再生」とDXによる社会保障の変質を考える」

福祉行政について、全国の報告

介護保険の今後の在り方

マイナンバーカードと介護医療のデジタル化

等について、全国（愛知・千葉・岡山・埼玉等）の現状を学びました。

分科会5 録画配信により受講

急速に進む少子化に対応するため、保育の量から質を重視する必要がある。保育環境の改善と保育士の配置基準をしっかりと実現すること、公立の標準的保育を確保すべきだ。

松井 豊

現地分科会14 「水島でカーボンニュートラルの取り組みを学ぶ」

- ① 市民と行政が連携する民生部門の取り組み
- ② 企業と行政が連携する産業部門
- ③ 今ある技術の有効性

温室効果ガス削減の取り組みの学習しその後、水島臨海工業地帯視察

セントラルホテル岡山に宿泊

7月24日

特別講演 岡山市民会館

- ① 「暮らしから考える自治体行政のデジタル化」 本多滝夫 龍谷大学教授

予想される「行政手続きのオンライン化、情報システムの標準化・共通化」についてスライド説明

- ② 地方自治体が直面するかだいへの挑戦（現場から）太田 昇 真庭市長

エネルギーや脱炭素、少子高齢化、地域活性化について、真庭市のバイオマス発電所の経験を基に講演、地元にある集成材の企業や製材所から出る木質チップと林地残材を使用しての発電を学びました。熱供給も市役所及び公共施設に使われていました。地元製材所等がない甲斐市との違いを実感しました。

終了後 岡山駅より、新幹線で名古屋に移動、名古屋から中央線で竜王駅に移動。

※参加費、旅費については、個人負担としました。 日本共産党甲斐市議団